



## 平成26年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成26年2月4日

上場会社名 森永製菓株式会社

上場取引所 東

コード番号 2201 URL <http://www.morinaga.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 新井 徹

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 杉浦 俊明

TEL 03-3456-0117

四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	123,906	7.2	3,447	69.9	3,824	71.4	7,860	633.6
25年3月期第3四半期	115,590	4.4	2,029	16.2	2,231	20.4	1,071	15.9

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 9,303百万円 ( %) 25年3月期第3四半期 350百万円 ( 82.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	30.19	
25年3月期第3四半期	4.11	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	146,660	62,816	41.0
25年3月期	141,154	52,981	37.2

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 60,198百万円 25年3月期 52,575百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期		0.00		6.00	6.00
26年3月期		0.00			
26年3月期(予想)				6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	164,900	7.9	4,000	48.4	4,400	48.0	8,200	477.7	31.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期3Q	270,948,848 株	25年3月期	270,948,848 株
----------	---------------	--------	---------------

期末自己株式数

26年3月期3Q	10,592,466 株	25年3月期	10,540,365 株
----------	--------------	--------	--------------

期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	260,380,832 株	25年3月期3Q	260,615,138 株
----------	---------------	----------	---------------

#### 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表レビュー手続は終了していません。

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、適正な情報に基づき作成したものでありますが、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

○ 添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報	2
	(1) 経営成績に関する説明	2
	(2) 財政状態に関する説明	4
	(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2.	サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
	(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
	(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
	(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3.	四半期連結財務諸表	5
	(1) 四半期連結貸借対照表	5
	(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
	四半期連結損益計算書	
	第3四半期連結累計期間	7
	四半期連結包括利益計算書	
	第3四半期連結累計期間	8
	(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
	(継続企業の前提に関する注記)	9
	(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
	(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は次のとおりです。

売上高は、主力の食料品製造事業が第2四半期連結累計期間に引き続き、当第3四半期連結会計期間でも伸長したことにより、全体では1,239億6百万円と前年同期実績に比べ83億1千6百万円(7.2%)の増収となりました。

損益は、売上原価率が上昇したものの、売上高の増収やより効果的な広告宣伝費投入によるコスト低減等により、営業利益は前年同期実績に比べ14億1千8百万円(69.9%)増益の34億4千7百万円、経常利益も前年同期実績に比べ15億9千3百万円(71.4%)増益の38億2千4百万円となりました。

また、当第3四半期連結会計期間にて固定資産売却益89億7千1百万円を計上したこともあり、四半期純利益につきましては78億6千万円と前年同期実績に比べ67億8千9百万円(633.6%)と大幅な増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しております。詳細は「3. 四半期連結財務諸表(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)」をご参照下さい。

### <食料品製造事業>

#### 菓子部門

主力ブランドの「ハイチュウ」は定番品や袋タイプの商品が伸長したことにより好調に推移し、「ダース」は前年同期実績並みに推移しました。一方「小枝」は引き続き苦戦し、「ミルクキャラメル」「森永ビスケット」「チョコボール」「おととつ」は前年同期実績を下回りました。主力ブランド全体では前年同期実績を下回りましたが、「カレ・ド・ショコラ」が好調に推移したことや、平成25年1月より販売を開始した「プリングルズ」の売上が加わったこともあり、菓子部門全体の売上高は623億9千万円と前年同期実績に比べ49億5千3百万円(8.6%)増となりました。

#### 食品部門

主力ブランドの「ミルクコア」はテレビ番組での健康効果の訴求もあり前年同期実績を上回り、「ケーキミックス」グループも前年同期実績を上回りました。また、夏場の飲用シーンを広げ伸長した「甘酒」も引き続き好調に推移し、食品部門全体の売上高は101億4千4百万円と前年同期実績に比べ3億6千万円(3.7%)増となりました。

#### 冷菓部門

主力ブランドの「チョコモナカジャンボ」及び「バニラモナカジャンボ」のジャンボグループは引き続き好調に推移しました。また「サンデーカップ」が好調に推移したことや、マルチパック商品も前年同期実績を上回ったことで、冷菓部門全体の売上高は244億6百万円と前年同期実績に比べ22億6千9百万円(10.2%)増となりました。

## 健康部門

主力ブランドの「ウイダーinゼリー」はテレビ広告の効果もあり前年同期実績を上回りました。また、「天使の健康」シリーズの通販事業も「おいしいコラーゲンドリンク」が前年同期実績を上回ったことで、健康部門全体の売上高は177億1千2百万円と前年同期実績に比べ7億4千8百万円(4.4%)増となりました。

これらの結果、<食料品製造事業>の売上高は1,155億9千9百万円と前年同期実績に比べ8.0%増となりました。セグメント利益は29億5百万円と前年同期実績に比べ14億3千4百万円の増益となりました。

[主力商品前年同期比(単位：％)]

菓子部門		食品部門	
ミルクキャラメル	94	ミルクココア	106
森永ビスケット	95	ケーキミックスグループ	102
チョコボール	95	甘酒	117
小枝	76	冷凍部門	
ダース	100	ジャンボグループ	123
ハイチュウ	110	サンデーカップ	113
おととと	98	マルチパック	107
菓子主力品計	98	健康部門	
カレ・ド・ショコラ	116	ウイダーinゼリー	102
		おいしいコラーゲンドリンク	110

※表内の数値は国内売上高にて算出

## &lt;食料卸売事業&gt;

売上高は、56億6千7百万円と前年同期実績に比べ2.8%減となりました。セグメント利益は4億2千万円と前年同期実績に比べて4千9百万円の増益となりました。

## &lt;不動産及びサービス事業&gt;

売上高はゴルフ事業が前年同期実績を上回ったものの、不動産事業が前年同期実績を下回り、事業全体は22億円と前年同期実績に比べ3.1%減となりました。セグメント利益は6億1千1百万円と前年同期実績に比べ1億3千7百万円の減益となりました。

## &lt;その他&gt;

売上高4億3千9百万円、セグメント利益1億4千9百万円であります。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産の残高は1,466億6千万円となり、前連結会計年度末に比べ55億6百万円増加しております。主な要因は、流動資産の現金及び預金、受取手形及び売掛金の増加や固定資産の機械装置及び運搬具、のれん、投資有価証券が増加したことなどによるものであります。

負債の残高は838億4千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ43億3千万円減少しております。主な要因は、流動負債の短期借入金や工事に関する債務が減少したことなどによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は3.8ポイント上昇し41.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成25年11月5日発表の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

重要な子会社の異動は、以下のとおりであります。

（食料品製造）

当第3四半期連結会計期間より、当社グループの海外進出の一環として、森永キノインドネシア(株)を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,377	12,396
受取手形及び売掛金	20,176	21,808
商品及び製品	8,200	8,298
仕掛品	465	369
原材料及び貯蔵品	4,086	4,396
繰延税金資産	1,940	1,709
その他	5,144	5,287
貸倒引当金	△16	△15
流動資産合計	50,375	54,252
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	25,554	23,337
機械装置及び運搬具(純額)	14,469	19,185
土地	30,313	29,402
その他(純額)	5,206	1,700
有形固定資産合計	75,543	73,625
無形固定資産		
のれん	981	2,400
その他	510	553
無形固定資産合計	1,491	2,953
投資その他の資産		
投資有価証券	11,912	13,491
繰延税金資産	852	957
その他	1,033	1,419
貸倒引当金	△52	△39
投資その他の資産合計	13,744	15,828
固定資産合計	90,779	92,407
資産合計	141,154	146,660

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,121	18,372
短期借入金	4,763	1,521
未払金	8,814	8,279
未払法人税等	982	1,357
賞与引当金	1,792	936
その他	13,146	9,005
流動負債合計	46,620	39,473
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	15,137	15,146
繰延税金負債	2,826	5,618
退職給付引当金	6,176	6,239
役員退職慰労引当金	107	95
資産除去債務	127	129
受入敷金保証金	6,595	6,491
その他	581	649
固定負債合計	41,553	44,370
負債合計	88,173	83,843
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	18,612	18,612
資本剰余金	17,186	17,186
利益剰余金	15,840	22,138
自己株式	△2,522	△2,533
株主資本合計	49,117	55,404
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,633	4,610
繰延ヘッジ損益	96	91
為替換算調整勘定	△272	91
その他の包括利益累計額合計	3,457	4,793
少数株主持分	405	2,618
純資産合計	52,981	62,816
負債純資産合計	141,154	146,660

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	115,590	123,906
売上原価	59,157	64,565
売上総利益	56,433	59,341
販売費及び一般管理費	54,404	55,893
営業利益	2,029	3,447
営業外収益		
受取利息	7	5
受取配当金	319	294
持分法による投資利益	6	13
その他	331	411
営業外収益合計	665	723
営業外費用		
支払利息	195	139
その他	266	207
営業外費用合計	462	346
経常利益	2,231	3,824
特別利益		
固定資産売却益	283	8,990
投資有価証券売却益	4	313
特別利益合計	288	9,304
特別損失		
固定資産除売却損	354	353
減損損失	93	218
その他	—	148
特別損失合計	447	720
税金等調整前四半期純利益	2,072	12,407
法人税、住民税及び事業税	1,183	2,088
法人税等調整額	△104	2,428
法人税等合計	1,079	4,517
少数株主損益調整前四半期純利益	992	7,890
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△78	30
四半期純利益	1,071	7,860

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	992	7,890
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△690	948
繰延ヘッジ損益	20	△4
為替換算調整勘定	18	442
持分法適用会社に対する持分相当額	9	26
その他の包括利益合計	△642	1,412
四半期包括利益	350	9,303
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	405	9,196
少数株主に係る四半期包括利益	△55	106

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位 百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	食料品 製造	食料卸売 及び飲食店	不動産及び サービス	計				
売上高								
外部顧客に対する売上高	107,054	5,831	2,270	115,156	434	115,590	-	115,590
セグメント間の内部売上高	846	502	203	1,552	615	2,167	2,167	-
計	107,900	6,333	2,473	116,708	1,049	117,757	2,167	115,590
セグメント利益	1,471	371	748	2,590	133	2,724	695	2,029

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、研究用試薬の製造販売他であります。

2 セグメント利益の調整額 695百万円には、セグメント間取引消去 20百万円、各報告セグメントに配分していない  
全社費用 543百万円、のれん償却額 79百万円などが含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰  
属しない一般管理費及び新規事業開発費等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位 百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	食料品 製造	食料卸売	不動産及び サービス	計				
売上高								
外部顧客に対する売上高	115,599	5,667	2,200	123,467	439	123,906	-	123,906
セグメント間の内部売上高	773	550	470	1,794	925	2,719	2,719	-
計	116,373	6,217	2,671	125,262	1,364	126,626	2,719	123,906
セグメント利益	2,905	420	611	3,936	149	4,086	638	3,447

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、研究用試薬の製造販売他であります。

2 セグメント利益の調整額 638百万円には、セグメント間取引消去 5百万円、各報告セグメントに配分していない  
全社費用 572百万円、のれん償却額 73百万円などが含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰  
属しない一般管理費及び新規事業開発費等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、事業の内容等を勘案した結果、米国森永製菓(株)を「食料卸売」セグメントから「食  
料品製造」セグメントに変更しております。なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載して  
おります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
 (固定資産に係る重要な減損損失)

(単位 百万円)

	食料品 製 造	食料卸売	不動産及び サービス	そ の 他	調 整 額	合 計
減損損失	218	-	-	-	-	218

(のれんの金額の重要な変動)

(単位 百万円)

	食料品 製 造 (注)	食料卸売	不動産及び サービス	そ の 他	調 整 額	合 計
のれんの増加額	1,492	-	-	-	-	1,492

(注) インドネシアにおける企業結合により、のれんが1,492百万円増加しております。